

はままつ



〈重点教育目標〉「わかる できる つかえる 伝わる」を実感できる子の育成

八雲町浜松239 TEL62-2462 FAX62-3190

学校HP: <https://www.town.yakumo.lg.jp/site/hamamatsu-es/>

令和6年3月1日

話を聞くということ

浜松小学校 教諭 藤谷 貴代

今年1月1日に、能登半島地震が発生しました。揺れだけでなく、家屋の倒壊や津波、火事による被害は甚大で、約2か月が経過した今も痛ましい様子に心が痛みます。私も、31年前に北海道南西沖地震に遭いました。今回の地震の様子はその時と似ていて、非常に驚いています。

1993年4月、私は奥尻島の小学校に勤務していた夫と結婚するため長万部町から奥尻町青苗小学校に転勤しました。その7月末には、結婚式を予定していました。しかし、地震に遭い、町が津波と火事で壊滅する様子を見て、式は取りやめて業務に専念することになりました。この地震によって島では198名が亡くなり、勤務校では7名児童の命が犠牲になりました。

地震後、私たちの小学校は学校再開を試みましたが、校舎の柱は折れて立ち入り禁止。急遽1キロ先の中学校へ間借りが決定し、夏休み中に学校の引っ越し作業。その間に、児童の所在確認、子供たちが失った教科書など物品の手配、時間割のやりくり、続々と届く励ましのお手紙と支援物資への対応等など、毎日通常とは異なる業務に対応しました。

また子供たちも、自分の身に降りかかった出来事に心がついていかず、泣いたり、怒り出したり、突然話し始めて止まらなくなる子もいました。先生方はできるだけ時間を割いて、話を聞くことを試みました。その中で私は、子供たちが自分の身に起こった出来事を話すと、次第に落ち着いていくことに気づきました。ある時、私に話してくれた子に「文に書いてみてみたら？」と提案しました。

すると、その子は翌日、長い長い手紙を書いてきました。亡くなった同級生に向けた手紙でした。そして、「〇〇君のことを思い出したけれど、書いたら少し落ち着いた。」と話してくれました。担任の先生にそれを伝えると、先生はクラス全体に、「今の気持ちを詩にしてみようか。」と投げかけました。若山茜さんは、堰を切ったように、こんな詩を書きました。

友達が 十二日の夜 友達が津波にさらわれた	友達が 十二日の夜 友達が亡くなった	友達が天国に引っ越した	友達が 十二日の夜 友達が亡くなった	友達が 十二日の夜 友達が亡くなった	友達が 十二日の夜 友達が亡くなった
-----------------------------	--------------------------	-------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

31年たった今、あの時の話題が出ると、子供たちが詩を書き終えてほっとした表情を思い出します。彼らは言葉にすることで落ち着きを取り戻し、心を整える時間になったのだと思います。ですから、今でも、目の前の子供たちの話を聞いてあげたいと思うのです。

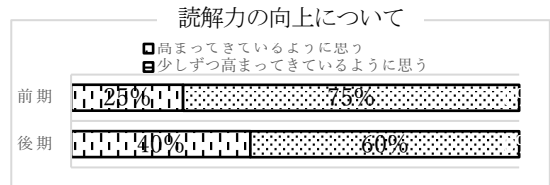
どうぞ、お子さんの話に耳を傾けてあげてください。じっくり、聞いてあげてください。言葉を受け止めてもらう時間と聞いてもらえる安心感こそ、子供のパワーの源になるはずですよ。

☆学校評価について☆

12月末に保護者の皆様に後期の学校評価アンケートのご協力をいただきました。評価結果と次年度の取組の方向性について概要をお知らせします。

☆主に児童の学力に関する項目

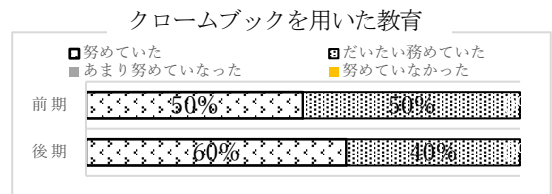
『児童の読解力』については、「高まってきている40%、少しずつ高まってきている60%」と前期より「高まってきている」の評価が高くなりました。また、『基礎基本と確かな学力の定着に向けた学習指導』、『わかる喜び、できる楽しさを実感できる授業』については、どちらも「取り組んでいた100%」と、前期よりも高い評価をいただきました。次年度も読解力の向上や基礎基本の定着等について継続した授業改善に取り組み、児童の「わかる・できる」意識の向上を図ります。



☆教育活動全般に関する項目

『児童一人一人を大切にされた教育』については、「取り組んでいた100%」、さらに『児童理解』、『安心できる学級づくり』、『児童との信頼関係の構築』の取組については、いずれも「そう思う100%」と、前期よりも高い評価をいただきました。今回の結果に満足することなく、次年度も小規模校の特徴を生かした個に応じた教育活動を継続します。また、児童の安心感と信頼関係を確保し、自己有用感を高められるよう、学級経営や全校活動を工夫し、保護者の方とも連携していきたいと考えています。

また、ICT活用において『クロームブックを用いた教育活動』については、「努めていた60%、だいたい努めていた40%」と、前期同様概ね高い評価をいただき、さらに『クロームブックを用いた情報発信（お便り等）』については、「適切であった100%」と前期を上回る評価をいただきました。次年度に向けて、教育活動におけるクロームブックの活用については、児童の発達段階も考慮しながら、「利活用」を図りたいと考えます。また、後期の保護者アンケートにはすべての保護者の皆様に、クロームブックを使って回答いただき、集計・分析の効率化がなされました。ありがとうございました。こうしたICTのよさを生かした、皆様との情報共有について、さらに工夫を図ります。

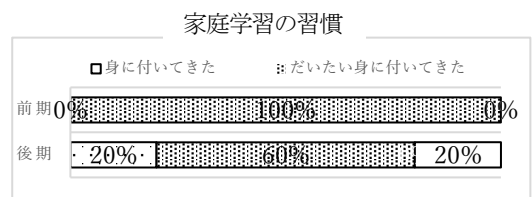


☆家庭での様子・及び学校運営協議会（CS）の取組に関する項目

『家庭学習の習慣』については、「身に付いてきた20%、だいたい身に付いてきた60%、まだ身に付いていない20%」という結果でした。また、メディア利用（パソコン、スマホ、ゲーム、テレビ等）についての約束は、「設けているが100%」、八雲中学校区の学校運営協議会の取組については「できている60%、できていな40%」となりました。

家庭学習については、学校でも宿題形式やクロームブックの活用など児童の実態に応じた対応を工夫します。ご家庭でもお子さんの学習へのサポートを引き続きお願いいたします。

学校運営協議会の取組については周知が不十分な部分があったかと思われます。学校だより等を通じてわかりやすくお知らせする工夫をいたします。



◎学校評価へのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後ともよりよい教育実践・改善に努めます。今後ともご理解とご協力の程よろしくお願いたします。

お詫び：今年度は、地域の皆様のアンケート準備が整わず、地域の皆さまのご意見を伺うことができませんでした。申し訳ございませんでした。学校へのご意見等がありましたら、ぜひお聞かせいただければ幸いです。いつでも、遠慮なくお知らせください。よろしくお願いたします。

3月の主な行事予定	
1日（金） 全校朝会	13日（水） 移動図書
2日（土）～3日（日） 校内ワックス塗布作業	18日（月）・19日（火） ATL来校
4日（月） ALT来校	20日（水） 春分の日
6日（水） 児童会活動	21日（木） 大掃除
7日（木） お楽しみ会（3時間目）	22日（金） 修了式（・離任式） 3時間授業
11日（月） ALT来校 午前授業（～22日まで）	23日（土） 学年末休業（～4月7日）